

医療・福祉WGにおける検討状況等について

平成 15 年 7 月 28 日
医療・福祉WG
主査 鈴木良男

1. 検討の方向性

当WGでは、特に医療分野のIT化の推進を目指し、現状の問題点、今後の課題などについて検討を実施。これまで、厚生労働省を始め、関係団体、有識者等にヒアリングを実施。

その他の昨年度から積み残されている課題、新規の課題についても同様に検討を実施予定。

2. これまでのWGの開催状況

下記のとおり、6回のWGを開催し、関係者へのヒアリング、意見交換を実施。

第1回 4月10日

- ・ 検討事項、今後の進め方について（委員、事務局における論点整理）

第2回 4月23日

- ・ 医療分野のIT化に関する有識者・厚生労働省ヒアリング

第3回 5月19日

- ・ 医療分野のIT化に関する関係団体ヒアリング（保険者団体）

第4回 6月2日

- ・ 医療分野のIT化に関する関係団体ヒアリング（ITシステム団体等）

第5回 6月10日

- ・ 医療分野有識者ヒアリング（日米医療事情について）

第6回 7月11日

- ・ 厚生労働省ヒアリング（薬学教育など）

* 勉強会開催

- ・ 急速な医療分野IT化の進展をみせる韓国の事情について

3 . 検討テーマ

レセプトのオンライン請求を中心とする電子的請求の原則化

- ・ オンライン請求実現のための具体的な改革手法の提言

電子レセプトの規格の充実・強化及び使用の普及促進

- ・ 傷病名、手術名、処置名等のコード統一と普及

カルテの電子化、用語・コード・様式の標準化

- ・ カルテにおける用語・コードをレセプトと統一

- ・ 将来的にカルテからレセプトが機械的に作成される仕組みの構築

診療報酬点数算定ルールの特明確化、簡素化

E B M (根拠に基づく医療) の推進

- ・ 診療ガイドラインの拡充

複数の医療機関による患者情報の共有

- ・ 民間事業者等への保管場所の範囲拡大等をセキュリティ確保策と合わせ検討

医療提供者に関する情報公開

- ・ 医療機関の医療機能、業務内容、医師の専門分野、診療実績等各種情報のデータベース化、ネットワーク化

価格決定方式の見直し

- ・ 中央社会保険医療協議会の透明化、中立化、公正化

わが国における、外国人医師、看護婦による医療行為等の解禁

薬学教育 6 年制導入の是非とそれに伴う薬剤師ひっ迫への対応

- ・ 一般販売業における管理薬剤師の配置義務緩和や受験資格の見直し等

保険者と薬局との協力関係の構築

- ・ 調剤薬局との個別契約に関する基準の特明確化

高齢者介護の新しい仕組みのあり方

以 上